

別記

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	中久保 豊彦 大阪大学 大学院工学研究科
② 立候補の理由と 抱負(400字程 度)	2023年度より、出身研究室である大阪大学・環境マネジメント学領域でリスク評価・管理に関する研究を再開させて頂くこととなりました。末石先生(第1期会長)、盛岡先生(第6期会長)、現・研究室教授の東海先生(第11期会長)が発展に尽力されてこられた本学会の舵取りを、小職も手伝わせて頂きたく、このたび立候補させて頂きました。他学会との連携体制が充実していることが本学会の特徴と考えており、小職が委員会活動等で関わっている土木学会(環境システム委員会)、廃棄物資源循環学会、環境情報科学センターとの連携の中で、学際的な研究活動の強化に取り組ませて頂きたいと考えております。国際学術誌への論文投稿の偏重傾向は避けられず、学会の年次大会のあり方も模索段階に入っています。地域の事例をベースにリスクを論じることは、リスク学の本質であると考えており、事例研究の共有と活発な議論ができる場として年次大会を盛り上げたく、発表や企画を打ち出していく決意です。
③ 本学会における 活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ● 2011年度～現在：年次大会における口頭発表ならびポスター発表(共著での発表を含む) ● 2017年度：日本リスク研究学会奨励賞を受賞 ● 2021年度：第34回日本リスク学会年次大会 実行委員会幹事
④ 研究歴・職歴等 (100字以内)	<p>2012年4月～2015年3月 大阪大学大学院工学研究科 助教</p> <p>2015年4月～2019年3月 お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 助教</p> <p>2019年4月～2023年3月 同 准教授</p> <p>2023年4月～現在 大阪大学大学院工学研究科 准教授</p>

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者名	中久保 豊彦
② 推薦者の姓名と所属	村山 武彦・東京工業大学
③ 推薦理由 (400字程度)	<p>中久保豊彦氏は、2012年3月に大阪大学大学院工学研究科を修了後、同大学の助教を経て、お茶の水女子大学基幹研究院で教育研究に従事されてきた。その間、日本リスク研究学会（当時）のほか、土木学会や廃棄物資源循環学会、環境情報科学センターなどで活動されており、2017年度にはリスク研究学会誌（当時）26(3)に掲載された原著論文「地震に伴うPRTR対象物質の流出による浄水場機能への影響評価とその対策効果分析」により、本学会の奨励賞を受賞されている。そのほか、土木学会環境システム委員会から優秀論文賞、廃棄物資源循環学会から奨励賞を受賞されるなど、同氏の研究活動は高く評価されている。</p> <p>また、2021年度に開催された本学会の第34回年次大会では、コロナ禍でのオンライン開催となったものの、実行委員会の幹事として大会運営の実務全般を統括し多大な労を尽くされた。今後、他学会との連携を含めて本学会の活動への貢献が益々期待される場所である。</p> <p>以上のことから、本学会の理事候補者の一人として中久保豊彦氏を強く推薦する。</p>